

農地利用最適化推進委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
栗本 恵司	男	70	農業	S49.4～H17.9 R2.4～R4.3 R1.4～ R5.9～	エース証券勤務（現東海東京証券） 東栗栖地区自治会長 和歌山商業高校硬式野球部OB会副会長 東部区域担当農地利用最適化推進委員	水稻	23	東部区域	非該当	証券会社（現、東海東京証券）退職後、 家業の農業を引継ぎ、地域の為自治会長 等を歴任し、地域に精通致しておりま す。農地利用最適化推進委員の仕事を一 期目（2年6ヶ月）させていただき、これ まで以上に地域の農業従事者の方との繋 がりが出てきました。任期中はすべての会 議、研修会、現場確認等の職務に参加、 調査資料のまとめなど貴重な経験が出来 ました。1期3年間で培った経験を生か し、更なる職務の向上を目指したいとの 思いから推進委員に応募しました。
井邊 雅晴	男	73	農業	S50.4～H29.6 R2.4～R4.3 H30.4～	（株）紀陽銀行 井辺地区自治会長 井辺農業組合長	水稻 果樹	68	南部区域	非該当	・家業である農業を会社就職時より手伝 い、退職後本格的に米作に取り組む。 その間に自治会長、地区農業組合長を歴 任。 ・地域の農地が宅地化される中での問題 点（農業者の高齢化、耕作放棄農地増 加、生活排水による水質悪化等）を農業 委員と連携して、農地利用の最適化を計 りたい。 ・耕作放棄農地の解消に向けては地域住 民とのネットワークを活かし、戸別訪問 を通じて所有者の意向を丁寧に把握し、 農地の出し手と受け手の橋渡し役を積極 的に担いたいと考えます。

農地利用最適化推進委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
谷河 真次	男	47	造園業	R6.4.1～	新友商事株式会社 代表取締役社長	水稻	41	北西部区域	非該当	職歴、農業経験を生かすことができ、今まで3年推進委員をやってきたので応募いたしました。
辻 朗文	男	68	農業	H9.4～H13.3 H13.4～H16.3 R1.8～ R2.5～ R2.9～ R6.11～	和歌山県庁農林水産総務課農地利用班 和歌山県庁耕地課管理指導班長 和歌山市消防団 副団長（方面隊長） 川永地区人権委員会 委員長 農地利用最適化推進委員 六箇井土地改良区 理事長	水稻 露地野菜	342	北部区域	非該当	定年退職後は、専業農家として水稻を中心にキャベツやブロッコリを栽培しています。平成2年からは、農地利用最適化推進委員として、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消等の活動をしてきました。 最近は、私の地域でも廃農する人が年々増加してきています。地域農業の衰退は、農村集落の崩壊につながりますので、一人でも多くの兼業農家の若者に農業の魅力を認識してもらい、また、定年退職者の帰農を促進することが必要であると考えます。 県庁時代の行政知識や社会活動の経験を活かし、少しでも農業の衰退を食い止めたいと考え農地利用最適化推進委員に応募しました。

農地利用最適化推進委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
中北 茂	男	72	農業	H31.4～R3.3 R7.1～ R7.4～	金谷第3自治会長 農地利用最適化推進委員 小倉連合自治会役員	水稲 果樹	64	東部区域	非該当	地域での長年生活している事を活かし、遊休地を減らし、荒廃化に歯止めをかけたいという思いと、農業者の高齢化の中で、地域の担い手不足解決に少しでも役に立てたいという思いから推進委員に応募しました。
高木 沙也佳	女	38	自営業	H22.4～R5.12 R6.12～	一般企業勤務 合同会社mamafarmer設立	果樹	7	北部区域	非該当	4年前より耕作放棄地を借り受け、自家菜園として活用するとともに、地域の子育て世代や子どもたちが畑に触れる機会づくりに取り組んできました。実家はみかん農家で、将来の継承を見据え、2年前から栽培にも携わっています。食料自給率の低下や後継者不足、耕作放棄地の増加に危機感を抱いており、農家の皆さまと連携しながら、農地の有効活用を進め、次世代の担い手との橋渡し役として地域農業に貢献したいと考え応募しました。
中筋 美晶	男	76	自営業 農業	S52～ H24.4～ H26.1～R6.3 H29～	中筋電子サービス 代表 JAわかやま総代 口須佐地区自治会長 農地利用最適化推進委員	水稲	15	南部区域	非該当	農家の高齢化や担い手不足で今後遊休農地がふえる見込みです。農地の荒廃化を防ぐため地域での農業者サポートをやっていきたいと思い推進委員に応募しました。

農地利用最適化推進委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
松尾 清	男	81	農業	H19.1～H24.12 H30.1～R2.12 H12.2～H29.3 H24.4～ H19.4～ H27.4～ R7.5～ H29.4～R5.3 H27.4～H30.3 H30.1～ H29.9～	本渡東自治会長 農業近代化推進委員（安原地区） わかやま農業協同組合総代 わかやま農業協同組合協力委員（現在、安原地区協力委員長） わかやま農業協同組合ブロック事業運営委員 和歌山県農業協同組合わかやま地域本部地域運営委員 和歌山県農業共済組合総代 亀池土地改良区監事 安原地区連合自治会監査 農地利用最適化推進委員	水稻 果樹	107	南部区域	非該当	<ul style="list-style-type: none"> ・家業である農業を父の手伝いよりはじめ、父より引継ぎサラリーマンとの兼業も含め約50年間従事しているため周辺地域の農業事情に精通しています。 ・平成12年より農業近代化推進委員はじめ、わかやま農業協同組合の協力委員、総代、ブロック事業運営委員、更に令和7年より農協わかやま地域本部の事業運営委員及び平成29年9月より農地利用最適化推進委員として職責を全うしてきました。 ・農業従事者の高齢化、担い手の不足により農地の荒廃化が進みつつあることに懸念しており、遊休農地になる前に借り手の掘り起こしに尽力をあげて荒廃化に歯止めを掛けたいと思います。 ・私の居住地で12年前より私を中心に農地を守る会を立ち上げ集団営農等を行い、遊休農地を増やさないよう活動しており、更に地域全体を巻き込んでワークショップを行いその具現化を行っております。これを他地域に水平展開を図りたいと考えています。 以上より引き続き推進委員に応募しました。

農地利用最適化推進委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
井本 博隆	男	70	農業	S53.5～R3.3 R4.4～R6.3 R4.12～ R5.10～ R5.9～	和歌山市消防局 下三毛畑自治会長 和歌山市民生委員児童委員 和歌山県農業協同組合総代 和歌山市農地利用最適化推進委員	水稻	117	東部区域	非該当	<ul style="list-style-type: none"> ・家業である農業に50年以上従事しているため、地域周辺の農業事情に精通していると思います。 ・令和5年9月から農地利用最適化推進委員となりその職務を続けてきました。近年、地域周辺の担い手不足による農地の荒廃化と、農業者の高齢化が進んでいることに懸念しています。 ・地域での長年の経験を活かし農地の貸し手や借り手の掘り起こしに尽力し、農地の荒廃化に歯止めをかけたいとの思いから農地利用最適化推進委員に応募しました。
南方 昌也	男	63	農業	H21.4～ H23.10～ H30.4～ R2.4～ R5.9～	JAわかやま名草地区総代表 JAわかやま事業運営委員 布引北地区自治会会長 JAわかやま名草地区蔬菜部会会長 和歌山市農業委員会 農地利用最適化推進委員	露地野菜	125	南西部区域	非該当	<p>会社勤めから家業の農業を継承して18年専業農家として農協及び出荷組合組織の一員として日々農作業に従事し、令和5年に農地利用最適化推進委員になり、その職務を続けてきました。耕作放棄地の多さに戸惑いながらも所有者に面会し、当該農地の今後の活用等を直接お話しさせていただきました。今後も推進委員1期の経験を活かし、耕作放棄地の適正管理による荒廃農地の減少、また担い手不足の解消並びに農業の後継者問題に尽力したいと思い、引き続き推進委員に応募しました。</p>

農地利用最適化推進委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員会委員 への推薦または 応募の状況	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)			
坂本 浩城	男	68	農業	S55.8～H30.3	和歌山市役所	水稻 露地野菜	101	東部区域	非該当	地域の農業者の高齢化と担い手不足による荒廃化が進んでいることにより歯止めをかけたいとの思いから応募しました。
池田 信義	男	70	農業	S53.4～R7.3 H27.4～R7.3 H23.4～	わかやま農業協同組合 農地中間管理事業農地活用員 和歌山市NPO・ボランティア推進協議会役員	水稻 果樹	—	東部区域	非該当	JAわかやま職員として10年農地中間管理事業に従事し、地域の農業・農地・農家について理解しているため、農地適正利用について活躍できます。 農地の利用について、和歌山大学と連携し、研究員として知見を得ているため、農地最適化について尽力できる。
谷村 良夫	男	66	農業 嘱託	S53.4～R2.3 R2.4～ H4.5～ H15.5～H29.3 R2.4～	わかやま農業協同組合（和歌山北農業協同組合） 和歌山県農業協同組合（わかやま農業協同組合）嘱託 和歌山市消防団山口分団副分団長 和歌山市農業近代化推進委員 山口地区連合自治会副会長	水稻	37	北部区域	非該当	私は家業である農業に約50年間従事しており、地域の農業事情について深い理解を有しています。 農業は、食料の安定供給のみならず、国土の保全や環境の維持など重要な役割を担っています。しかし近年、農業従事者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地が増加している状況を強く憂慮しています。 これまで培ってきた農業に関する経験を活かし、微力ながら農地の活性化に務めるとともに、耕作放棄地の発生防止および解消に取り組み、地域農業の振興に貢献したいと考え、農地利用最適化推進委員に応募いたしました。